

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 165 号)

発行日：2021 年 (R3) 4 月 16 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788  
090-1895-8061 (今住)

E-mail：[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



新年度が始まりました。各方面で移動や変化の多い時期。ご自愛ください。

新型コロナも1年が経過し、変化が…変異しているのですが。感染力が強くなり、比較的若い世代にも重症者が多くなる。寄生主(?)を弱らせてどうするんでしょう。ウイルスの暴走か? ワクチンは6月末までに高齢者分(2回接種)は確保されるとか。さて、みんなに行き渡るにはいつまでかかるやら。国内開発ワクチンはどこ行った?

しかし田舎で生活していると関係ない? 高齢者の中には「あんなん(ワクチン)受けません」という声も。個人の選択だとは思いますがどうなのでしょう?

季節は???よくわかりません。春?でしょう。草花の咲き方は約10日(10日=旬)ぐらい早いような気がするし、多くの種が同時に咲いているようにも感じます。旬が一時に…。

食べ物も旬がわからなくなっています。人が日照時間や気温をコントロールして旬を作り出しているような。「イチゴ」の旬はいつ?

自然をコントロールしすぎたツケが来ています。ゼロエミッション社会へ舵を切らないと。

※ゼロエミッションとは、人間の活動から発生する排出物を限りなくゼロにすること。

(今住 4月15日作成)

**定期活動**★3月28日(日) 年度最終作業日でしたが雨天で中止!

**何か心配** 西谷の自然 ★2020年6月改訂 兵庫県版 RDB に思う!

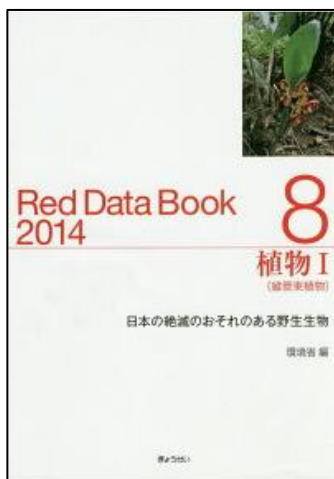
年度最終の活動が中止で、ネタがないのでコラムに。あくまでも私見です。ご承知ください。

RDB=レッドデータブックという言葉はよく耳にするとおもいます。環境省が出しているのは「日本の絶滅のおそれのある野生生物」、兵庫県は「兵庫の貴重な自然」として出版されています。副題として「レッドデータブック」がついています。(近畿版・宝塚市版もあり)

ブックは最近、データとしてネットでも閲覧できます。おおむね10年ごとに改訂され、環境や種(貴重種)の変化が確認できます。

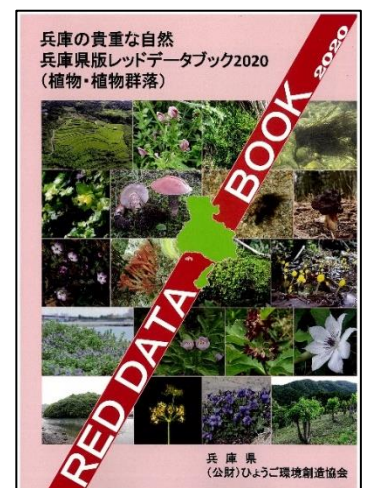
昨年(2020年)6月に「兵庫 RDB 植物・植物群落」が改訂されました。ランクは EX(今見られない)・A・B・C・注・調となり、Aの方が貴重ということになります。フラスコモ類(A)

サギソウ(B)・カザグルマ(B)・ヤマトミクリ(B)などなど。西谷では



環境省版 RDB

サギソウ(B)・カザグルマ(B)・ヤマトミクリ(B)などなど。



改訂された兵庫県版 RDB



ランクに入っている植物がまだ多く見られます。貴重な自然が多く残っているということでしょう。すぐそこにあっても気付かなかったり、見つけるのが困難だったりしますが…。

「植物群落」は前回まで「希少さ・繊細さ」「自然の豊かさ」を基準に面積？で評価（ランク付け）されてきました。しかし今回から評価基準が変更され、「人のかかわりで維持されている」「種の多様性が維持されている」が評価の対象となっているようです。つまり「里地・里山＝管理・利用されている」かどうかのようです。（正確には理解不能）

ランクが低くなるのはいい意味ではなく、「近い将来群落が消えてしまいますよ」というメッセージか？とにかく、「まだ貴重種があり多様性は高い」が、どんどん遷移が進み次回改訂時には RDB から消える可能性も。「励ましとあきらめのランク」とも言えるかもしれません。

西谷には 26 もの群落指定されています。（県内トップクラスの数）以下挙げてみます。

西谷地域の貴重な植物群落（兵庫 RDB より抜粋・内容一部削除）

	植生区分	群落名	地名	施設名	ランク	備考
1	照葉樹林	アカガシ群落	玉瀬 前田	素盞鳴尊神社	C	—
2	照葉樹林	ウラジロガシ群落	大原野 堂坂	宝山寺	注	—
3	照葉樹林	コジイ群落	波豆川	八坂神社	C	—
4	二次林	コナラーアベマキ	境野 保与谷	西谷の森公園	C	県立公園として管理。湿原あり。
5	二次林	コナラーアベマキ	切畑 長尾山	櫻の園(亦楽山荘)	C	ボランティア団体が管理。
6	個体群	サワギキョウ	大原野 北穴虫	—	C	市民団体が管理。2020年版で新たに掲載。
7	照葉樹林	シラカシーモミ	大原野 南宮	素盞鳴命神社	C	—
8	照葉樹林	ツクバネガシ群落	波豆谷田東掛	八幡神社	C	—
9	個体群	ベニバナヤマ	切畑 長尾山	大峰山北斜面	C	—
10	滲水湿原	湿地植物群落	下佐曾利	—	C	維持されている。
11	滲水湿原	湿地植物群落	玉瀬	丸山湿原	A	市民による保全活動が継続されている。
12	滲水湿原	湿地植物群落	玉瀬	桃堂湿原	B	2020年版でAランクからBランクに変更。
13	滲水湿原	湿地植物群落	上佐曾利尾崎	スゴ池周辺	注	2020年版でCランクから要注目に変更。
14	滲水湿原	湿地植物群落	大原野古瀬	まむし谷	注	2020年版でCランクから要注目に変更。
15	滲水湿原	湿地植物群落	大原野松尾	松尾湿原	B	2020年版でCランクからBランクに変更。
16	滲水湿原	湿地植物群落	大原野猪ノ倉	—	注	湿原生植物は生育するが、規模小さい。
17	滲水湿原	湿地植物群落	長谷	芝辻新田湿地	B	イノシシによる掘り返しが顕著である。
18	池沼植生	池沼植物群落	下佐曾利森脇	琴平神社の隣の	注	2020年版でBランクから要注目に変更。
19	池沼植生	池沼植物群落	下佐曾利中山	—	注	2020年版でBランクから要注目に変更。
20	池沼植生	池沼植物群落	玉瀬細尾	—	B	維持されている。
21	池沼植生	池沼植物群落	大原野寒山	—	注	2020年版でAランクからBランクに変更。
22	池沼植生	池沼植物群落	大原野林	—	A	現状を確認できていない。
23	池沼植生	池沼植物群落	長谷イヤ谷小畑	—	注	2020年版でBランクから要注目に変更。
24	池沼植生	池沼植物群落	長谷中上山	—	C	2020年版でBランクからCランクに変更。
25	池沼植生	池沼植物群落	波豆大畑	谷池、谷田池周辺	C	—
26	河辺植生	河辺岩上植物	道場・玉瀬・塩瀬	武庫川峡谷	A	サツキ、アオヤギバナが生育する。

6 番（大原野北穴虫）・15 番（松尾湿原）の青表示（私が色づけ）は積極的に保安全管理された結果、状態がよくなりランクアップもしくはランクイン。しかし、8 か所（赤字）はランクダウン（現状を確認できていないものを含む）しています。手入れされなくなり放置状態？個人の土地がほとんどで、管理できなくなった？管理する意味がない状態？（21 番【大原野寒山】の注は誤表



18 番 下佐神社横ため池(2011年撮影)

記ではなく備考欄が誤記。「A→注に変更」が正解だそうです。4/14 県に確認）  
 人の生活に近い場所（里地）が管理できなく（放棄田？不要なため池？不要な山林？）なってきたようです。  
 人とのかかわりの中で貴重な植物が



18 番 下佐ため池のサイコクヒメコウホネ





13 番 上佐スゴ池周辺 (2011 年撮影)

**まとまって育つ場所。**荒れて行く現状をどう考えるか。ランクダウンするとさらに配慮（行政）は無くなり、土地の造成やため池の埋め立てが進むような気がします。無くなってしまっているのでしょうか？

環境省が選定した「**生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山」）＝西谷地区**」はどこへ向かっているのでしょうか？「**人と自然どっちが大事や？**」ではなく、「**どちらも大事**」という視点に立つ考えが必要。考え方の違いを認め合い、

利活用を含めて里地里山を守る柔軟な行動が求められているのでは。と言っている私も凝り固まってきて、柔軟な考え方や違いを認めることが苦手になっています。気を付けなければ。あくまでも今回はコラムです。たわごと…。

**定期活動★4月10日（土） 定期基礎調査 10名で活動 ドローンも飛んだ！**

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	34	15	入口	10:03	15.1℃		
ハイキング	12	10	第3湿原	10:30	【15.7℃】	31.7 μS/cm	6.7
散歩・登山	33	45	視点場	10:51	18.1℃	27.4 μS/cm	7.0
来場者数 計 149 人 (竹筒ポスト人数)			第1湿原	11:01	【19.3℃】	29.8 μS/cm	7.0
			第2湿原	11:33	【12.0℃】	32.7 μS/cm	6.9

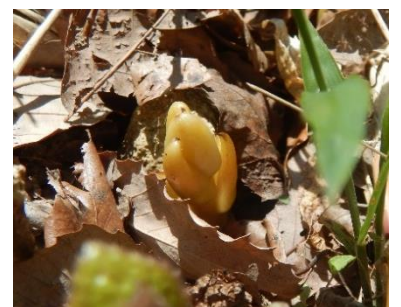
新年度最初の活動。といってもルーティーンの活動です。今回から私、出禁解除！春の陽気に誘われて♪ルンルン♪とお散歩。



クロモジの花

まず入口駐車場ではクロモジ（黒文字）、ウリカエデ（瓜楓）のお花がお出迎え。見上げるとなんとアケビ（木通）の花がもう開花？地面を見るとキラソウ（金瘡小草）もしっかり地獄の釜に蓋をしていました。昨年、コロナに蓋を！とお願いしていたのにあかんがな。

道を進んでいくと、イチヤクソウ（一葉草）が花茎を上げている。とくると名物ツチアケビ（土木通）はどんなものでしょう？見つからず。「さすがにまだ早い」「いや今年はまだ出ない」「菌を食い尽くした」等いろんな発言があったような？ところが帰り道、目のいい方が落ち葉の中から「あった！」。なんとホワイトアスパラガスのような芽が数本。昨年はなぜか途中で枯れてしまいました。今年は見事な花を咲かせてほしいものです。



芽を出したツチアケビ



キラソウ（地獄の釜の蓋）



咲き始めツクバキンモンソウ

竹筒ポスト周辺にはツクバキンモンソウ（筑波金紋草）も花を咲かせ始めていました。スミレ類を眺め、新緑にマルバアオダモ（丸葉青櫛）、コバノミツバツツジ（小葉の三葉躑躅）の花。サルトリイバラ（猿捕茨）も開花。



花芽を上げたイチヤクソウ



地味な花が多いですが花だらけ！

湿原に着いて基礎調査。データの的には異常なし。ただ水量は少ないか？



マルバアオダモ花



シオヤトンボ？のヤゴ抜け殻

何かいないかとマクロモードの多数の目が活動開始。いました！「セトウチサンショウウオの幼生か？」最初アカガエル類のオタマジャクシかと思いましたが、「お玉杓子」の形ではない！首？元には何やらヒラヒラと。鰓（えら）です。セトウチサンショウウオ（瀬戸内山椒魚）



セトウチサンショウウオ幼生の幼生に間違いなし。目が慣れてマクロ全開になってくると次々見つかります。約 2cm か。さらにヤゴの抜け殻まで。おそらく 1 番最初に現れるシオヤトンボ（塩屋蜻蛉）のものと思われます。成体は目につかず。

花々の開花状況から考えるとちょっと不思議な感じでした。帰りに 1 頭（匹）だけ見ることができました。写真は撮れず。

今回は法人会員「コチ」さんも 3 人で参加。早速ドローン撮影もしていただきました。森の中を歩いていると新緑が眩しく感じましたが、空撮ではやはりまだ冬の名残の雰囲気。全体的に茶色の風景でした。湿原の水の状況もよくわかり「空撮恐るべし」と痛感いたしました。

あと気になるのは第 1 湿原出水口。「掘れ」が進行しつつあるような気がしてなりません。以前から話題にはな

っていましたが、「自然の遷移に任せる」か「人工物で保護する」か真剣に考える時期が来ているようです。どれくらい先端（出水口）が後退したか、科学的なデータはとっていません。顧問の先生方とも相談の必要がありそうです。極端な出水も多い昨今。人の手が加えられてない場所。同じような湧水湿原（滲水湿原）の施工例はあるのでしょうか？情報をお待ちしています。県の天然記念物です



第 1 湿原空撮（ドローン）「コチ」撮影 よくわかる！から…消滅はまずい！



もう咲いた！トリガタハンショウヅル…なーんてね。冗談で済めばいいのですが…

最後に帰り道。トリガタハンショウヅル（鳥形半鐘蔓）が蕾をつけているのでは？と探すと…なんと開花中！これも昨年より約 10 日早いような。春の花が一斉に咲く、まさしく春爛漫の日でした。ん？昆虫がまだ少ない。昆虫が出てきたときに「密」問題は起こらない？虫媒花は虫がいなくても受粉できる？

おー！これが「フェノロジー（生物季節）のミスマッチ」か。どうなる地球。どうなる日本。どうなる西谷。どうなる丸山湿原

**総会予告**★6月27日（日） 午前の定期活動後 開催予定

コロナの状況が不明のため、会場や実施方法は後日連絡します。昨年同様書面議決の可能性もあります。ご承知ください。詳細は追ってご連絡いたします。

**次回活動**4月25日（日）5月8日（土）23日（日）6月12日（土）27日（日）午後 総会